

## 星空の中に惑星をみつけよう

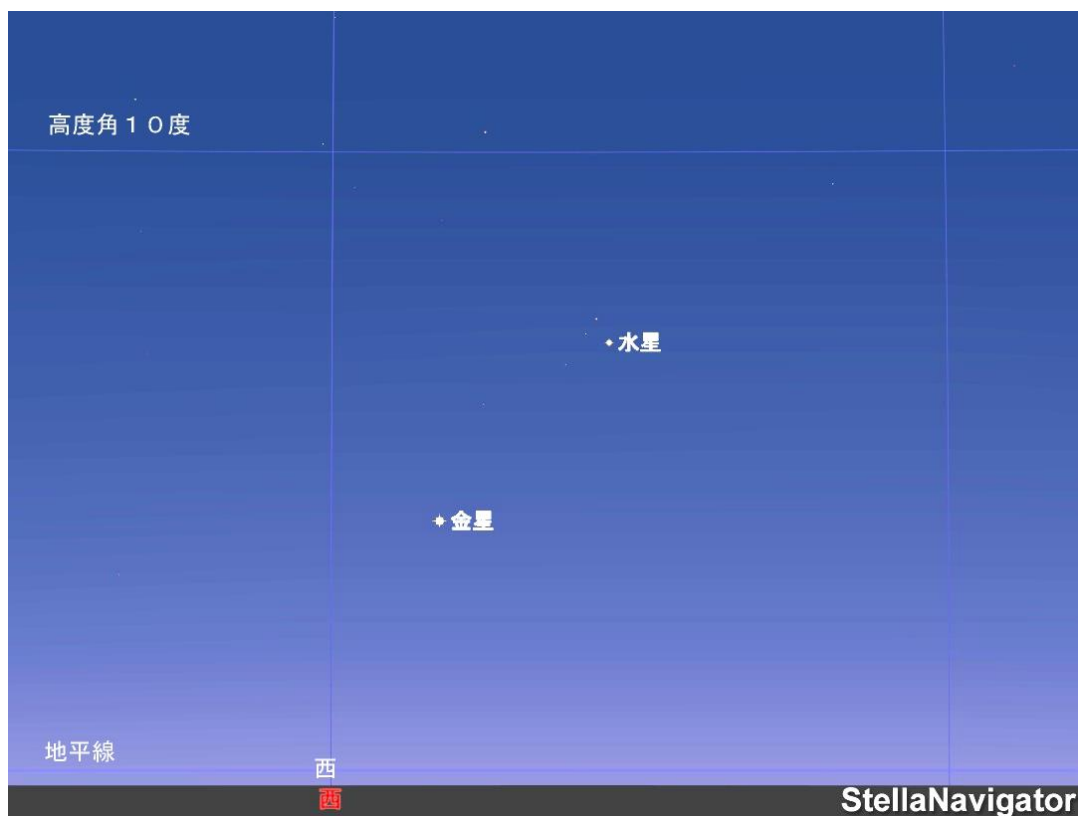
### 夕空に水星と金星を見る

3月に入ると金星は宵の明星として、宵の空（夕空）に見えるようになります。方角は西空の低空ですが、3月16日前後には水星も一緒に見られます。

位置は、下図（星図）に示していますが、ほぼ真西ですから図を参考にしながらさがしてみましょう。

星座をかたちづくる恒星がまだ見え始める前からこの2星だけが明るく、先に輝きますから、案外、みつけやすいともいえます。

カメラに三脚を取り付けて固定し、写真を撮ってみましょう。オート（自動露出）でも撮れるかもしれませんがね。



3月6日午後6時40分頃に見られる金星と水星

### 明けの空に木星、火星、土星を見る

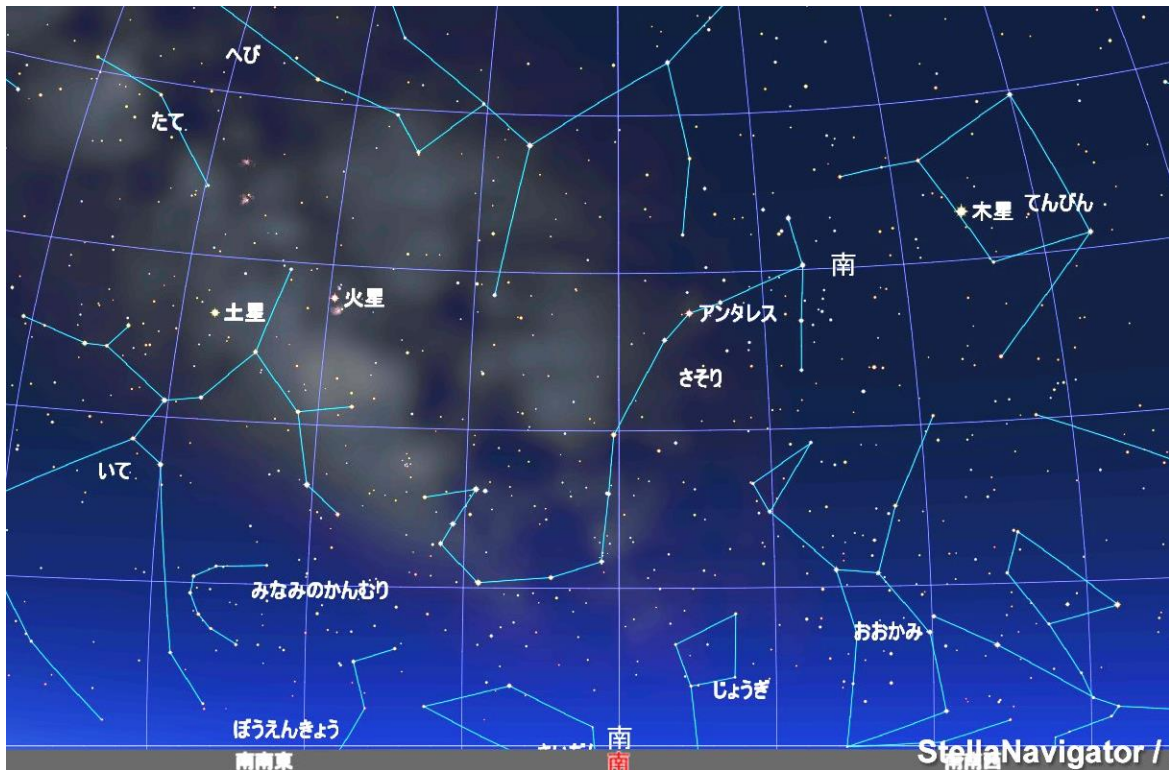
夜明け前の午前4時頃に早起きして南の空を観察すると、－（マイナス）2等級の明るさで木星が輝いているのがわかります。

明けの空では実は、惑星は3個見られるのです。ひとつはてんびん座の中にある木星。次にいて座の中に今年の7月31日に地球に大接近する火星が赤い光で輝いています。すぐにみつけることができることでしょう。

また、いて座の中には土星も輝いていますので、南の空がとても賑やかです。

これらの惑星が夏休みには宵の空に見られるようになってきますので、夏休みの天体観望会などでは天体望遠鏡で3個の惑星を一気に見られるかもしれませんね。

この惑星を、月と共に先月、撮影しました。次ページに3月の様子のシミュレーション図とともに2月12日撮影の写真をご披露いたします。



3月20日の明け方（午前4時40分ころ）に見られる惑星の位置



2月12日の夜明け前に見られた月、土星、火星、木星の写真

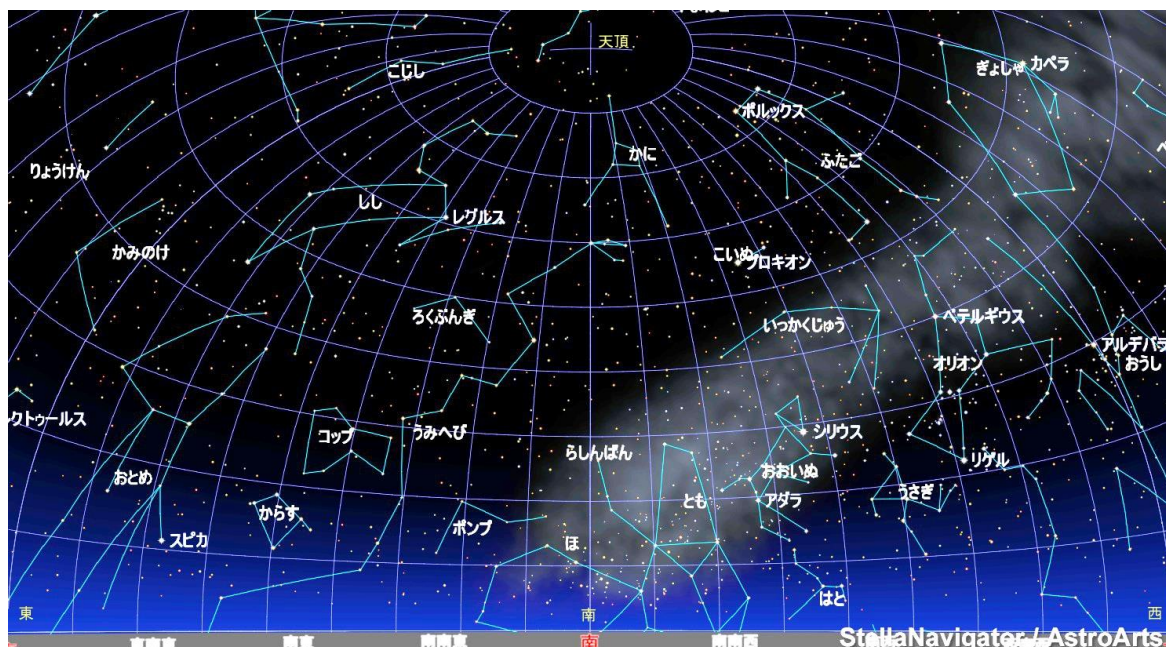
### 3月の星空

3月の星空は、夕空に見られた冬の星座が徐々に西の空に沈んでいき、午後9時頃には春の星座が見えてきます、

おおぐま座のしっぽに当たる北斗七星から南にたどっていくと、うしかい座のアルクトゥールズをみつけることができ、さらに南まで目をやれば、おとめ座のスピカにたどり着くことができます。

真冬ほど寒くない季節ですから、星図を片手に星座をさがしてみましよう。

## 3月の星図



3月の中旬、午後9時ころの星空です。南の空と北の空の星図がありますので、観察する位置によって使い分けましょう。月明かりの影響はカットし、月の姿も表現していません。このコラムの中で使用する星図は、(株)アストロアーツの許諾を受け、天文ソフト「ステラナビゲータ10」を使用しています。

## 3月の天文情報

日	曜日	月齢	天文現象など
1	木	13.2	
2	金	14.2	満月
3	土	15.2	
4	日	16.2	月が天の赤道を通過（南半球へ）
5	月	17.2	
6	火	18.2	啓蟄（二十四節気）
7	水	19.2	
8	木	20.2	
9	金	21.2	下弦の月
10	土	22.2	月と火星が接近
11	日	23.2	月と土星が接近 月の距離が最遠 月の赤緯が最南
12	月	24.2	
13	火	25.2	
14	水	26.2	
15	木	27.2	
16	金	28.2	水星が東方最大離角
17	土	29.2	新月
18	日	0.6	彼岸の入り 月が天の赤道を通過（北半球へ）水星と金星が接近
19	月	1.6	水星と金星が最接近
20	火	2.6	火星がM8星雲とM20星雲の間を通過していく。
21	水	3.6	春分の日 春分（二十四節気）
22	木	4.6	
23	金	5.6	

24	土	6.6	
25	日	7.6	上弦の月 月の赤緯が最北
26	月	8.6	
27	火	9.6	月の距離が最近
28	水	10.6	
29	木	11.6	
30	金	12.6	
31	土	13.6	満月 月が天の赤道を通過 (南半球へ)